

高校期からのステロイド使用後に全身症状と白内障手術を経験した成人アトピーの経過 (30 歳 成人)

症例 ID：001-30-ST2 | 記録日：2016 年 6 月 26 日

1. 診断・治療前経過

高校入学頃から顔の赤みとかゆみが続き、ステロイド外用薬を約 3 年間使用しました。大学期に治療を開始し、ステロイドを中止しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔を中心にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 3 年間です。
中止時期	大学入学頃の治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
高校入学頃	発症・外用開始	顔の赤みとかゆみに対してステロイド外用を開始しました。
大学入学頃	治療開始	ステロイドを中止し、漢方治療を開始しました。
開始後約 6 か月	症状の強い時期	全身の強いかゆみ、創部、落屑、不眠が続きました。
同時期	眼症状	左眼に白内障がみられ、手術を受けました。
その後	改善傾向	皮膚症状とかゆみは徐々に軽減しました。
2016 年 6 月	記録時点	かゆみは残るものの、周囲から皮膚が整ったと言われる状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、ステロイド中止後約 6 か月間、全身を掻きむしって創部が広がり、夜間に眠れず、朝には手袋が血で汚れていた時期です。

5. 困りごと

- 全身の創部により、夏でも半袖を着られませんでした。
- 夜間の掻破を防ぐため手袋を使用し、睡眠不足が続きました。
- 左眼の白内障手術が必要となりました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総 IgE
最高値	約 59000
2016 年 6 月頃	20000 台

7. 経過のまとめ

強い全身症状を経た後、皮膚状態とかゆみは徐々に軽減しました。
記録時点ではかゆみが残るものの、総 IgE は最高時の約 59000 から 20000 台へ低下していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。